

彩の合気

編集発行
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関紙No. 4

役員1年半を振り返って



理事長 市塚 勇
埼玉県合気道連盟の理事長を
拝命して、早いもので1年半が
経過し、残り半年となりました。
この間、本連盟の目的である加
盟団体間の親睦や合気道の普及
発展に僅かでも寄与出来るよう
活動してまいりました。

お蔭様で、新しく7団体の加盟を得て、現在23
団体となりました。更に3団体から、加盟検討中の
連絡を受けており、名実共に埼玉県の合気道を代表
する組織となりつつあります。

恒例となっている4月の少年錬成会、7月の植芝
守央本部道場長の合同講習会も参加者が急増し活況
を呈してまいりました。合気道は各自の錬磨によっ
て、技の向上を図るとともに人間性の高揚を得るこ
とに大きな喜びがあるものと思います。それは、所
属団体内では勿論のこと、連盟加盟団体間の道友と
の関係で更に倍加され、更に、県内に止まらず、国
内はもとより広く海外の道友との接触を積極的に進
めることで、より強固になると思います。これから
は、海外を視野において埼玉県合気道連盟の今後を
考える時期に来ていると思います。これが、世界を
和と統一で結ぼうとなされた開祖の教えを守ること
に繋がるものと思います。

美しき この天地の御姿は
主のつくりし 一家なりけり

理事長を受けるに当たって目標とした広報活動の
強化は、機関紙「彩の合気」の4回の発行で実行さ
れていますが、15周年記念誌は編集委員が決まり、
資料収集の段階です。県体育協会への加盟につい
ては、専務理事にお会いしましたが、非常に厳しい状
況にあり、打開策を検討中という状況で、腰を据え
た対応が必要です。

今後とも、加盟団体の皆様のご協力を得て、埼玉
県合気道連盟として最良の道を進めて行きたいと思
いますので、宜しくお願い致します。

埼玉連盟主要行事

1. 常任理事会

10月17日(金)、北与野・庄やで常任理事会
を開催し、下記事項を討議決定しました。

1) 記念誌について

- イ) 資料の収集：下記の資料を集める。
 - a) 創立以来の歴史を記述するための資料
 - b) 埼玉県合気道連盟の現状を示す資料
- ロ) 資料の整理：年内目標。
- ハ) 編集会議の開催：年初を予定。

2) 土屋義彦埼玉県合気道連盟会長への挨拶

日時を調整し、三役で訪問する。

3) 広報活動の強化「彩の合気」

団体紹介記事、各団体行事報告を要請する。

4) その他

- イ) サイパン合気会の要請について
埼玉連盟として、埼玉県教育長あて依頼すると
共に、加盟各団体に協力を要請する。

加盟団体紹介〔4〕

1. 合気道大宮道場

当道場は、大宮市市民体育館を拠点にして昭和5
8年10月、市塚道場長・藤田事務局長を中心に
「大宮合気道同好会」としてスタートしました。

初めのうちは数人の稽古が当たり前のような状況
でしたが、市主催の合気道教室が行われるようにな
ってから、徐々に人数も増え、道場としての形が
整ってきました。昭和62年10月には「合気道大
宮道場」と名称変更し、現在に至っております。

また、同年8月には少年部も発足し、現在、会員数
120余名を抱えるまでになっております。

埼玉県合気道連盟には、昭和62年5月に加盟、
また「大成合気道会」と共に大宮市合気道連盟を結
成し、平成元年には大宮市体育協会に加盟するなど、
合気道の輪を拡げてまいりました。

現在、大宮道場では月・水・木・土の夜7～9時
が通常の稽古日になっておりますが、時間の都合で
夜の稽古に参加出来ない人のために、木曜日の朝9

時からのクラスもあり、主婦を中心に熱心な稽古が行われております。また、兄弟道場である「久喜合気道同好会」では火曜日の夜、日曜日の朝稽古があり、大宮道場・久喜合気道同好会の会員は、どちらの道場でもやりたいときに稽古が出来るという恵まれた環境になっております。現在、当道場にはアメリカ、イギリス、カナダ等世界各地から来た人々が会員として多数参加しており、国際的な道場になりつつあります。ロサンゼルス合気道学院、サイパン合気会、イスタンブール合気会との交流も深く、平成6年には初めての海外合宿をロサンゼルスで行い、また本年11月には2回目の海外合宿をサイパン合気会の3周年記念行事に合わせて行いました。

年間の主な行事としては、春の演武会、秋の合宿そして年3回、本部道場の師範にお出でいただき講習会を行っております。



これからも市場道場長の指導のもと、世界に目を向けた道場として、日々厳しくも楽しい稽古の出来る場になっていければと思っております。(田中)

2. 合気道健武館道場

合気道健武館は昭和59年9月「武をもって、健やかなるを目的とす。健やかなるは人生の礎なり」と武医同道を目的に設立された合気道専用の道場です。

設立に先立って、8月の暑い中、合気道本部道場の渡辺信之師範、獨協大学のQ-B及び現役の部員の方々のご協力を得ての合気道のPR兼演武説明会を開催してのスタートでした。当時は村で(今年で町制10周年)合気道の名前を知らない人の方が多く、知名度を高めることを心掛けていました。今でもそれは継続しています。

当道場は埼玉県の北西部に位置し、西側を神流川が北方向に流れ、群馬県境を画しています。南側は

奥秩父山地へと山地が連なり、西側には浅間山、妙義山、北側は赤城山を望み、東側は関東平野が眺望されます。

さて、当道場は53畳程のところに見学席を含む小さな道場ですが、武道館とは違う独特の良い雰囲気を感じ出しています。

稽古は毎週水・土の午後5:30~6:30(少年部)、7:30~8:30(成人部)で、指導方針は「武をもって健やかなれ!」を主旨とする為「怪我をしない、させない」、一步を進めて「姿勢を良くする。」を柱としています。

健やかとは単に肉体的健康のみでなくWHO(世界保健機構)の提唱する精神的健康及び社会的健康を考慮して、少年部では各学年に応じた目標と技、成人部では指導する立場での心構えを課題に稽古をしています。詳細は別の機会に譲らせて頂きます。

年中行事の主なものは、1月の鏡開き、2月の昇級昇段審査、8月夏季合宿と昇級昇段審査、11月渡辺信之師範による特別講習会、12月クリスマス会と忘年会です。また年1~2回、研修稽古と親睦旅行(温泉)を行っています。



ゆるりと合気道を楽しんでいます。今後とも宜しくお願い致します。(須野原)

加盟団体の行事報告

1. 狭山市合気道講習会

10月5日(日)、狭山市立武道館で、第2回狭山市合気道連盟講習会が開催されました。

講師は本部師範の磯山博八段で、後ろ両手取りの基本的な体さばきを中心に、合気道を実生活の場に如何に生かしていくか、いわゆる「実践合気道」のあり方や日常の心かまえ等をまじえながら懇切な指導が行われました。講習には同連盟に所属している狭山市合気道教室、航空自衛隊入間基地合気道部、

合気道自然館の3団体のほか、人間幸武館からも合気道50名が参加し、2時間半にわたって熱心に受講しました。



稽古の後、師範を囲んで懇親会が開かれました。

が、会長の田村市議会議員も加わって、和やかな雰囲気の中で時を忘れて楽しく歓談するなど実に有意義な講習会でした。

なお、本講習会は年度計画では9月29日の予定でしたが、都合により1週間繰り下げて実施されました。(吾妻)

2. 合気道市民教室の開催を終えて

今年で深谷市民合気道教室の開催も4年目を迎えました。

深谷合気道クラブでは毎年一回秋のスポートズセンターにかけて合気道市民教室を行っています。深谷市総合体育館内の武道場を利用して稽古をしている関係で、主催は財団法人深谷市施設管理公社及び深谷市レクリエーション協会・主管深谷合気道クラブという形で行っております。

受講者の募集は深谷市広報コーナーに記事を載せて告知しております。今年は十代から六十才代までの男女10名の参加がありました。まったく運動が初めての人、柔道や空手の経験者など様々な方々が集まりました。週2回、全10回の教室ではありましたが、参加者の全員が皆勤という熱の入った稽古を通じて合気道の片りんを体験された事と思われまます。初めは前受け身、後方回転受け身、膝行など合気道独特の基本動作には殆どの方が戸惑っておりましたが、回を重ねるごとに目に見えて進歩し終了時には見違えるほどに上達されておりました。また、会員からは、スポーツマンにて教室参加者を指導することにより、自身の稽古にもなりレベル

アップにつながっているとの声も聞こえております。当合気道クラブは、丁度会員が50名を数えるまでになりました。週2回の稽古には毎回30名位の参加があり、かなりにぎやかな稽古となっております。黒帯も16名に増えたため親切な指導が行き届く用になり、楽しい稽古ができるようになりました。

今後も年一回の市民合気道教室を続けて参りたいと念願しております。連盟の皆様のご指導とご協力を引き続きお願い申し上げます。(本橋)

3. 浦和合気会 演武会について

10月19日、県立武道館にて浦和合気会の演武会を行いました。当日は賛助団体として県内からは桶川愛気会、所沢市合気道連盟、又県外からも船橋合気道道友会、佐久合気道会、六義会等の多数の参加がありました。

第一部の演武会は、初めに私たちの会の5級の方々から行われ、続いて賛助団体の模範の演武へと移りました。最後は本部道場の遠藤師範に演武を披露していただきました。

第二部として、遠藤師範による講習会が催されました。今回は「出合いからのさばき」を中心にした内容で参加者の活気を感じました。今回初めて参加していただいた桶川や所沢の皆さん方とは、県連加盟の団体どうしですし、時間、機会が許しましたら、ぜひ互いの交流を深めて行きたいものです。この様なことが、県内での合同講習会へと進むものと思います。

講習会後は、遠藤師範を囲んでの懇親会が行われ、互いの親睦をより深め、散会致しました。(林)

4. 久喜同好会・講習会

10月19日、久喜市総合体育館で、大宮道場の共催による本部師範の講習会が開催されました。講師は、関昭二7段で2年ぶり6回目の講習会で、かつて、勢いのある技で、よく畳に叩きつけられたことがあり、その勢いのある技に憧れて本部道場に通った時期もありましたが、今回は勢いをセーブしながら、横面打ちを中心にして姿勢・間合・体捌きの大切さを技を通して説明され、更に、受けの形の重要さを説明して頂きました。私が指導

担当の時、皆に「関師範は受け身の取り方の厳しい先生です。特に正面打ち、横面打ちはしっかり打ち込んで下さい」と注意しておきながら自分が横面打ちで注意されてしまいました。



技の指導のみならず、受け身の取り方まで指導頂き、貴重な講習会となりました。

今回受けた指導を大切にしながら、次回関師範をお迎え出来る日を楽しみにしています。(桜井建)

5. 和光支部・合宿にて

寒い！と思う日が多くなって来ました。皆様、稽古をさぼってなんかいませんか？

当和光支部の道場は、冷暖房はおろか電灯さえ揃って点く事がないボロ道場です。だから、暑さ寒さの自然と一体になりながら稽古します。

この写真は合宿での一コマ。これもまさに自然の



〔編集後記〕

9月～11月はスポーツの秋、合気道の稽古にも絶好の季節で、この間加盟各団体においても、演武会や講習会が数多く行われました。お互いが交互に参加するケースが増えており、これが、とりもおさず連盟加盟団体間の親睦を深めることになろうかと思えます。

本号では演武会や講習会の状況을載せることで各団体に協力をお願いしておきましたが、早々に記事を送って頂いたところや、連絡を取ったらその日のうちにまとめ、FAXしていただいたなど、皆様のご協力によって、予定通り発行することができました。深く感謝申し上げます。

平成も10年、埼玉県合気道連盟も15年を迎えようとしています。次号には来年度の各団体の行事予定を載せたいと思いますので、宜しくご協力お願い致します。(市塚)

中での稽古でした。朝日を浴びながらの素振りや水を吸って堅くなった砂浜での受け身など、1泊2日の青春ドラマを皆なで演じて来ました。

この合宿での大きな成果は、子供たちの変化です。大人の演じたドラマに興味を持ったのか、合宿後の子供たちの稽古の真剣な事、仲々のものです。

このように和光支部は、師範川路昌治をはじめ子供も大人も合気道大好き人間の集まりです。そして、師範のモットー”真実の合気道”を求めて日々稽古している野性味たっぷりの支部です。

皆様、宜しく御見知りおきくださいます様お願い申し上げます。(尾形)

6. スポーツフェスティバルに参加して(大宮道場)

毎年11月3日は、大宮市民にスポーツを楽しんで頂くために大宮市民体育館主催のスポーツフェスティバルが開催されております。その一環として、今年も9時から16時まで50分単位で6回に分け、合気道を紹介し、体験して頂きました。



参加者の中には、繰り返し体験する方もおり、少しでも合気道を理解して頂けたのではないかと考えております。これを機会に一人でも多くの方が合気道を始めることになれば幸甚です。(市塚)